



あなたを失って
 はじめて気付いたことがあります。
 あなたは優しい気持ちの素でした。
 ただそこにいるだけで、
 空気がホッと和らいだ。
 みんなの顔から笑みがこぼれた。
 楽しい時間をありがとう。
 あなたのくれたあったかい幸せには、
 ほんとうに感謝しています。
 だからキチンと。心をこめて。
 あなたを静かに送ろうと思います。



納骨堂内部



ゆうみん社スタッフ一同

安心して おまかせください。

当社は引き取りから火葬・収骨まで寺院監修、僧侶の立ち会いのもとに式のすべてにきめ細やかなお世話と供養が行き届きます。

私共の願い

小さな命たちは、人の暮らしの中にやすらぎと安心を与えてくれる大切な仲間です。愛する家族のひとりである小さな命の旅立ちのとき、その悲しみと不安は誰にも分かってもらえません。そんなとき、私共はあなたの心の手助けをいたします。ともに語り合い、正しく供養いたします。

益城熊本空港インターから車で5分、左側看板より左折



設備

- 管理棟**
納骨堂に併設され御霊のお世話をいたします。
- 納骨堂**
700区画の納骨堂を保有。
- 斎場**
厳粛な葬儀・供養をいたします。
- 慰霊碑**
大自然の中に手厚く埋葬されます。
- 火葬炉**
小鳥から大型犬までの火葬が可能。
- 駐車場**
50台収容可能。

様々なご希望やご相談に応じます。
お電話でお気軽にご相談ください。



(社)日本獣医師会賛助会員
熊本総合ペット霊園
〒861-2242 熊本県上益城郡益城町木山1548-1 ☎096(380)6666
年中無休・日・祝24時間受付 ☎0120-30-6666
<http://www.yuminsya.com>

あ
り
が
と
う



(社)日本獣医師会賛助会員
熊本総合ペット霊園



逝く命はみな同じです。
流れゆく時間の中でひとつの形を残してゆくことを
動物たちも切に願っているものです。
ペットとよぶにはかわいそう。
私共は、家族の一員として
やすらぎの場を求める小さな命を
心を込めて正しくご供養いたします。



設立

私共は昭和62年に小動物専門の総合動物霊園を開園致しました。小さな鳥獣といえども命に差別はなく平等であります。ならばその生命の終わりは人と同じく厳粛に慈愛を込めて営んであげたい。そうした立場になって私共はあらゆる小動物の供養のため真心からのご奉仕をさせていただきます。今まで見送った小さな命は20,000霊を数え、その中には路上で亡くなった無縁の犬や猫たちも私共の奉仕で数多く供養されております。

環境

大切な家族の一員です。火葬、納骨、供養にあたっては、私共にすべておまかせください。交通至便な熊本市の東部、託麻の広々とした台地に、四季折々の花と緑に囲まれた霊園には、毎朝・夕に読経の声がひびき、香の紫煙は絶えることなく流れます。

受付から火葬・葬儀の流れ



■受付

お電話でお申し込みください。専用の棺と一輪のお花をご用意してお迎えに参ります。おいで頂いてもけっこうです。



■旅立ちの準備

生前のお話を聞かせてください。ご用意された供物や手紙を入れて旅立ちの準備を整えてください。遺毛を残すこともできます。



■最後のお別れ

最後のお別れを頂戴してお棺の封印を行います。読経の中で火葬炉に火を入れて頂きます。



■収骨

お骨壺を選んで頂きます。のど仏を最後に収骨します。



■葬儀式

お葬式を致します。読経のご焼香を頂戴します。お骨は家に連れて帰ってください。もちろん当霊園で納骨することもできます。
(火葬の前に葬儀をすることもあります。)



もしものときには……

- 静かな落ち着いた場所に安置してください。
- バスタオルなどの上に寝かせてください。
- 灯明・水などを供えてください。
- お花や好きだった食べ物を用意してください。
- 合掌の後、まずお電話でご相談ください。
- ご家族で火葬お骨上げにお立ち会いください。

火葬・納骨にあたって

- 納棺、火葬にあたり、好きな食べ物やお花を添えてください。金属類やガラス、プラスチックは避けてください。
- 火葬・供養に際して、写真を1枚ご用意ください。
- 納骨されるときは読経の後、遺骨とともにお花、供物、写真を納骨棚へ安置します。

よくある質問

Q ペットの供養は人間とは違うのですか。

A 人間も動物も命の根源は一つです。同じ命、共にこの世に生きる仲間です。供養の方法も同じです。仏教では一切衆生悉有仏性と云います。何より大切なことは、見送る人の気持ちです。「あなたに出会えて楽しかったよ、幸せだったよ、ありがとう」の気持ちを伝えてあげることです。

Q 人間の仏壇にペットの位牌やお骨をお祭りしてもいいのでしょうか。

A 仏壇とは本来ご本尊様をお祭りする所です。それは、阿弥陀如来や大日如来であったり、掛け軸だったり様々です。仏様の大慈悲の前には、人も動物も差別はありません。位牌を置かれるのは仏壇の下段にお祭りされるのがよろしいでしょう。お骨は仏壇の中ではなく仏壇の脇か前に別の小さな台を用意してその上に安置してください。

Q 分骨してもよいのでしょうか。

A お釈迦様のお骨は数多く分骨されました。それだけ多くの人々がお釈迦様の徳を慕い、供養を行ったということです。分骨されて結構ですが、後々粗末にならないよう気をつけてください。

Q 動物の霊は人にタタリますか。

A 正しく供養されたペットであれば、可愛がってくれた飼主にタタルなどということはありません。むしろ、皆様の幸せと心の平安を手伝ってくれます。

Q 友引に葬儀をしてはいけないのですか。

A 全くの迷信です。浄土への旅立ちの日時に吉凶があるわけがありません。仏教を正しく理解した人であれば絶対にそんなことにはとられません。

Q 自分の墓にペットのお骨を納めていいのでしょうか。

A 管理者のいる霊園の墓地では難しいでしょう。もし入れることができたとしても、飼主もいずれはこの世を旅立ちます。お骨の管理は飼主さんが生きていた間は心掛けてもらえるでしょうが、永代の保証はありません。後々無縁になり粗末な扱いを受けることのないよう、いずれかの機会に埋葬されることをお勧めします。(散骨等の方法もありましょう。)また、お墓や仏壇は私たちと仏様を結ぶ拠り所ではあっても、死者の住処や居場所ではありません。成仏したペットは何ものにもとられない自由自在の境地から飼主の幸せを手伝ってくれます。

Q ペットが行方不明になってかなり日が経ちますが、どうすればいいのでしょうか。

A いろいろな事情で家に帰れなくなったペットはたくさんいます。永く帰ってこないペットはきちんと供養してあげましょう。遺骨、遺体が無くとも供養はできます。ペットの遺品や写真をご用意ください。正しく供養することで、ペットも安心し飼主も心にやすらぎを頂戴することができます。

Q ペットが亡くなってすぐに火葬してもいいのでしょうか。

A ………。



他にもたくさんの疑問や質問を頂戴しています。どんなことでも結構です。電話やE-mailにてお答えします。お気軽にご相談ください。
E-mail mikeneko2004@docomo.ne.jp

Q&A